

## 調整池の魚の生息状況について

- ・毎年度、環境影響評価事後調査の一環として防災調整池の魚類の生息調査を行っている。
- ・平成30年度は10月17日に、漁具を用いて魚（ギンブナ、コイ）を捕獲し調査を行った。
- ・捕獲した魚は、種の同定、個体数の把握、体長の計測後、速やかに放流した。

### 【防災調整池】



### 【捕獲の状況】



### 【ギンブナの状況】

- ・ギンブナは調整池で145個体が確認された。そのうち最小体長のものが4.0cmであり、平成29年度の春先に産卵された個体と考えられることから、調整池での再生産が行われていると推定できる。



### 【コイの状況】

- ・コイは2個体を確認し、いずれも体長30cm以上の大型個体であった。



【参考：過去3か年度に確認されたコイの状況】

[平成27年度]



[平成28年度]



[平成29年度]

平成29年度は3個体を確認したが、コイの放流後にカメラの水没による機器故障が生じたため、画像データはなし。